

# JUNGIDO

1898 = 1996

1998年は創立100周年です

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝  
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会  
 大津市膳所2-11-1  
 TEL0775-24-4295・0775-23-2304 (校友課) FAX0775-24-1732  
 発行日/平成8年4月15日  
 編集人/広報部会・谷口啓司  
 印刷/有限会社服部印刷所

### CONTENTS

歴代校長座談会	1
100周年キャッチフレーズ決定	1
平成8年度総会案内	1
100周年実行委員会部会報告	2・3
周年同窓会予告	3
歴代校長座談会〈詳報〉	4
周年記念同窓会報告	5
同窓生投稿・寄稿	6
宇野会長叙勲	7
会費納入のお祝い	7
膳所高NEWS	8

## VOL. 8

### 100周年 キャッチフレーズ決定!!

キャッチフレーズ大賞

### 「遵義の桜、 咲いて100年」

昭和63年卒(膳所高36回)舟橋 秀晃さん

JUNGIDO VOL.7での募集に対し、キャッチフレーズ40点、キャラクター31点の応募があり、100周年広報部会にて厳正な選考をいたしました。キャッチフレーズには校歌の一節を取り入れた方が多く、その中であって流れの良い、理解しやすく、決まりの良いものを選考の規準として上記のキャッチフレーズを大賞と決定いたしました。残念ながらキャラクターの大賞は該当者がなく佳作だけの選考となりましたがイメージとしては100という数字、桜、校章の描写が多くありました。

以下佳作に入られた方々のお名前を発表し、選考報告といたします。

#### 〈キャッチフレーズ佳作〉

昭和33年卒 新野 愛子さん  
 昭和56年卒 福井 浩さん  
 膳所高2年 木本 明さん

#### 〈キャラクター佳作〉

昭和27年卒 高橋 半次さん  
 昭和59年卒 谷澤 一輝さん  
 膳所高3年 池上 剛さん

会費納入ありがとうございました。

### 同窓会会費納入状況

昨年4月から納入いただいております、平成7年度の同窓会会費は、平成8年2月末日現在、

総額 **13,639,000**円  
に達しました。

会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。

今回、振替用紙を同封させていただいた方は2月末日現在今年度会費が未納となっております。ご納入いただくようお願いいたします。くわしくは7ページをご覧ください。

(財務部会)

100年史の編集にあたって、100年史記録部会主催により歴代校長座談会が2月12日(月)、「さざなみ荘」にて午後2時から5時まで開催されました。昭和51年就任の第9代松山義夫校長から現在の第17代武原博校長までお元気にご活躍中の8名の校長先生全員一同にお集まりいただき、当時の苦労話や思い出話を語っていただきました。

先生方には校長在任中の出来事、新規に始められた事業、その運営、指導の大枠を伺い、その間の史実、記録、前後の事情などを確認し、更に資料に乏しい空白期間を少しでも掘り起こせばという事でご協力をお願いしました。したがって予定時間も大幅にオーバーし、座談会とは少々趣を異にした報告会のような進行に終始しましたが、お互いの意見交換はその後引き続いて開催された懇親会で一挙に盛り上がりを見せました。

学校側から先生方4人、同窓会から3人が出席。進行役は最も若い谷澤一輝先生が担当されました。校長先生方はあらかじめご用意いただいた資料に加え、強い記憶力により熱くお話をされたときは感慨深げに語り続けられました。おかげで膳所高の最近18年間の概要がたどたどしに思われます。

国の教育方針に従って膳所高としてどう対応し、指導していけばよいのか、伝統ある校風を継承しつつ、新しい時代に対応できるようにしていくか、その時々校長先生のご苦労、先生方のご努力が随所に伺えました。その先生方の教育への熱意が生徒にも伝わり伝統と相まって今日の膳所高があるのだなという感を深くしました。

〈4頁に詳細を掲載〉



『100周年に思う』歴代校長座談会開催!!  
 苦労ばなしや思い出ばなし  
 100年史記録部会

総会は毎年5月の第2日曜日です。多数のご参加をお待ちしています。

### 平成8年度 総会のお知らせ

本同窓会の平成8年度の定時総会を左記の要項により開催いたします。例年多数のご参加をいただいておりますが、平成10年の創立百周年を目前に控え、いっそう盛り上がりつつある総会になりますよう、会員の皆様のご参加を多数のご参加をお願いいたします。

#### 平成8年度 総会

●日時 平成8年5月12日(日)午前11時開会  
(午前10時30分受付開始)

●場所 大津プリンスホテル

TEL0775・21・1111

●議事 平成7年度会務報告

平成7年度会計報告並びに会計監査報告

●講演 平成8年度事業計画並びに予算案

「地方分権の行方・我が体験的地方自治論」  
講師 吉澤 健氏

●懇親会 懇親会に出席される方には、会費として10,000円を当日徴収させていただきます。

なお、出席の方、及び、住所等変更の方は、同封のハガキでお知らせください。

#### 理事の方々へ

別便にてご案内いたしますが、総会に先立ちまして、「理事会」を開催いたしますので、ぜひご出席ください。会場は大津プリンスホテルで、午前10時開会です。

# 100周年実行委員会 部会報告

同窓会の皆さまのご協力を



## 記念行事式典部会

広報部会担当委員としての進行状況を報告いたします。  
この部会は同窓会だけの活動ではなく第1部式典行事は学校サイド、第2部祝宴は同窓会サイドと分担してその上で相互協力により運営しています。

### 「原案」

基本方針 OB、OG、在校生にとっても有意義な行事になる様、そして学校本来の業務に支障がないように配慮する。

期 日 平成10年11月7日(第1土曜日)  
時間内容 午前9時受付、記念公演等  
参加者 生徒、現教職員、旧職員・来賓、PTA、同窓会員、合計約2,000名

場 所 第1候補 びわ湖ホール(平成10年3月完成予定)  
第2候補 県立体育館  
第3候補 学校(体育館)

第1候補のびわ湖ホールが最も望ましいが、日時、予算等の折りあいにつき次第であつてあくまで検討中である。第1が決定した場合生徒対象にした情操教育として、一流のオーケストラ・オペラを招待公演、本物に接する機会を与えられたらと考えている。第2、3の場合は本校のプラスバンド等を考慮中。

参加者 同窓会員、現教職員、PTA、旧教職員・来賓、合計約500名  
場 所 びわこホテル(平成10年10月完成予定)  
ブリンズホテル等検討中

祝宴(懇親会)の内容としては協議中ですが現在出ているものとして本校OB、OGで企業、官僚その他第一線で活躍されている方、またはこれまで活躍されて来られた方達によるパネルディスカッション等も良いのではないかと考えています。何か良いご意見があればお寄せ下さい。  
100周年迄にはまだまだと思つていらっしゃるうちに、また、季節が移ろい母校の庭の木々の芽も少しほころび春の息吹きを力強く感じます。広報誌が届く頃には桜も満開でしょう。私達の記念すべき大イベントも2年後です。

膳所高校として相応しい意義あるものにしてしようと委員一同頑張つております。担当委員としてこれからも100周年に向けてのニュースを伝えていこうと思つています。

諸部会共同ですが先立つものは何とやらで、どうしても大きな財力が必要です。同窓生諸兄姉の皆様も本当に楽しく、そしてまた、格調ある素晴らしい100周年を迎えられます様、お力をお貸しいただきましてよろしくご協力をお願いいたします。

(担当委員 田中)

## 100年史記録部会

「100年史記録部会は毎月大きな進展を見せており、お伝えする内容もかなり詳細なものとなっておりますので、部会員の方の報告をそのまま紹介する形を取らせていただきます。」  
100年史記録部会では、VOL.7でご報告した通り、毎月第2水曜日を定例委員会として、2

月まで計11回の委員会を開催し、着々と準備を進めていきます。

「教育史」「同窓会史」「写真集」の3部作のうち、目下、最もボリュームのある「教育史」に焦点をあて作業にとりかかっています。

「教育史」については、当初、3名程度の執筆による通史(1名約100頁)を考えていましたが、執筆いただけると先生がなかなか見つからず、外部委託となるとその人選や経費など困難が予想され、結果、現在膳所高校におられる先生方を中心に、あらかじめ設定したテーマに沿つて各2頁を基本に原稿執筆をお願いすることになりました。

現在設定したテーマは約70項目、先日開催した歴代校長先生の座談会や、3月20日に予定している旧職員座談会をはじめ、同窓生の座談会の内容をもとに逐次、補充・削除、改良を重ねていきたいと思います。

30名程度の先生方に分担任していただくこととなると思いますが、この原稿をもとに一部リライトを加え、特集部分をまず最初に完成させていきたいと思います。この特集を年別に整理し、既刊の80年史をベースにした通史部分と照合し、更に年表・資料・写真を添付し、教育史を編集発行していきたいと考えています。

予算が未確定に加え、スタッフをはじめ様々な事情から、編集方針が行きつ戻りつしており、スケジュールも少々遅れ気味ではありますが、100周年に欠かすことのできない、また、時間的にも最も手数のかかる教育史の大綱がこれで決定しましたので、今後原稿や資料の収集にピッチを上げていきたいと思つています。

教育史の進行に合わせて、手つかずの状況にあります同窓会史・写真集の編集にも逐次とりかかっています。



## 組織名簿部会

これにより部会も更に多忙となつていくと思われまますので、お手伝いいただける方がおられましたら、ぜひともご協力をお願いいたします。  
また、一月の定例部会の日と同窓生の方が戦時中の貴重な写真をわざわざ委員会開催日に持参ご提供いただきました。ここに一部をご紹介させていただきます。同窓生の方々でご提供いただける資料や写真がございましたら、事務局または100年史記録部会員まで、ご一報賜りますようお願い申し上げます。

(担当委員 服部)

### 1 常任理事、並びに理事の委嘱

(1)常任理事(263名)に対し委嘱証を発送しました。  
(2)理事(1,235名)に対してはJUNGI DO7号へ掲載しました。

### 2 住所不明者の調査

(1)住所不明者(2,738名)のリストを学年別に分け、各々学年別の常任理事の代表者(74名)に送付し、調査をお願いしました。  
(2)2月29日現在、74名のうち40名の方々がご返事をいただき、2,738名のうち324名の住所が確認できました。

(3)返事をいただいたものは早速住所録を変更しました。

(4)次回は、8号発表後、調査をお願いする予定です。

### 3 所属組織の実体調査

(1)同窓生(約25,000名)が地域で、職場で、また、部活OBとして、どの様に活躍されているか、各組織の責任者にアンケートしました。

(2)地域的には、京都、関東、栗東、中主各膳高会からご返事をいただきました。

(3)職場的には、大津市役所膳高会からご返事をいただきました。

- (4)部活OBとしては、体育系から6部(バスケット部、ヨット部、サッカー部、ラグビー部、野球部、柔道部)ご返事があったが、文化系は組織が無いようです。
- (5)各組織で、例えば総会をした時の名簿を組織名簿部会に送っていただきますようお願いいたします。

各アンケートに対しご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。より正確な会員名簿を作成するために、再三調査を行いたいと思っておりますのでお力添えをよろしくお願いいたします。

## 募金推進部会

100周年記念事業実行委員会募金推進部会(石川部会長)は3月16日(土)午後2時より同窓会館で開催されました。出席者は学校羽野委員、事務局泉谷・新川委員、部会委員8名の計11名でした。

最初に部長より本日の会議の目的が述べられ、直ちに協議に入りました。まず羽野委員より今日までに各部会で協議されたことの概要について説明され質疑応答が行われました。

現在までに各部会で協議された事業計画案及び予算案については、今後執行機関の調整会議を経て実行委員会案として提案されますが、当募金推進部会ではそういったことを念頭に置きながら次のようなことが話し合われました。

- 一、募金目標額 1億円
- 卒業生数及び現在の経済状況等を勘案すると同時に、既に100周年記念事業を実施された他校の実状を参考に目標額であります。最終的には各部会の事業計画案が調整会議等で協議されて目標額が決定されます。
- 一、募金方法

一口の金額を低くして出来るだけ多くの方々より協賛が得られるようにしたい。また、口数により記念品の贈呈を考える。募金には積立方式も検討する。

一、募金の時期

平成8年秋頃より1年間とする。

以上のことが協議されました。なお、募金趣意書(案)及び募金の具体的な方法等については次回部会で叩き台を検討することになりました。

## 環境・施設整備部会

本部会では学校の要望を大切にしながら、関係者からの情報に広く対応しつつ、100周年に相応しい事業を種々検討してまいりました。

- 現段階では
- (1)第2グラウンドの施設拡充(例えば、部室の整備や夜間照明灯の設置など)
  - (2)セミナーハウス建設に係わる同窓会室の整備
  - (3)校舎改築に伴う記念コーナリの整備(例えば、校門石柱の保存、記念モニュメントなど)
  - (4)教育振興基金の創設(例えば、21世紀対応マルチメディア、研究促進助成など)
- の4案を考えています。当部会の事業は、これからの募金活動にも重大な影響を与えると思われ、各部会と十分協議をして決定していきたいと考えております。

## 広報部会

広報部会は、JUNGIDO7号において、キャッチフレーズ、キャラクターマークを募集してまいりました。多数の応募がありありがとうございました。

その応募作を、去る3月2日(土)同窓会クラブハウスにおいて、同窓会、学校、PTA3者の広報部会員により審査しましたが、残念ながらキャラクターマークは該当する作品がなく、キャッチフレーズのみを決定いたしました。

キャッチフレーズには、やはり桜を題材にしたものが多くありましたが、一面で発表の通り、昭和63年卒業、舟橋秀晃さんの「遵義の桜、咲いて100年」に決定いたしました。

今後、このキャッチフレーズは、横断幕にして、学校の玄関、夏の高校野球県大会の応援席等に吊し、広く同窓生をはじめ、県民の方々にもPRしていきたいと考えています。

また、キャラクターマークについては、再考することにしております。

## 幹事さん世話焼きさん連絡ください

### 100周年を盛り上げましょう!!

毎回「JUNGIDO」の周年同窓会覧での楽しい集いのご紹介、微笑ましく拝見しています。私達は昭和25年卒を頭に20人前後、故中井一郎先生にくっついて山を歩いていた生物班山岳班OBです。谷元峰男先生を中心に毎年比叡比良へそして夏には3~4泊で東北の花と温泉を訪ねる山旅をしています。

膳所OBのこんな5~6人から数10人の集りが星の数程あるのではないかと推察します。

文化系体育系部活のOB会、顧問の先生を囲む集い、職場の膳所高会、大学の膳所高会、地域のOB会、その他男性の飲み会、女性の食べ歩き会etc.....みんな同窓会に登録して100周年の総会に押しかけましょう。そして記念誌にその足跡を留めましょう。

- ①グループの名称(長い長い名前OKです)
- ②何年卒~何年卒
- ③人数
- ④例会の回数
- ⑤内容
- ⑥その他

を組織名簿部会長または事務局までごぞって連絡しましょう。

同窓会組織のますますの充実を願って止みません。

昭和25年卒業(大高1回) 西川 幸三

## 周年同窓会予告

<p>■昭和25年卒業(大高1回)</p> <p>「な、しの会」</p> <p>9月7日(8日) 玉造温泉</p> <p>幹事 須佐見幸造</p> <p>青木 政子(旧姓 山名)</p> <p>☎0775・318・3527</p> <p>「霜月会」</p> <p>11月9日(10日) 琵琶湖ホテル</p> <p>幹事 草川 博</p> <p>荻原 貞子</p> <p>☎0775・78・4334</p> <p>☎075・951・2776</p>	<p>■昭和24年卒業(旧大津)</p> <p>真珠会</p> <p>平成8年6月16日(日)</p> <p>「庭と京料理」佳樂</p> <p>京都市山科区安朱馬場東町19</p> <p>☎075・592・0020</p> <p>・幹事 久保美代子(旧姓 横田)</p> <p>☎0775・37・1877</p> <p>松村信久子(旧姓 下坂)</p> <p>☎0775・22・7927</p>	<p>■昭和23年・24年卒業(膳中46回・旧膳所高)</p> <p>ブレ卒業50周年同級会</p> <p>平成8年7月20日(祝)午後1時</p> <p>・会場 大津石山 船岩</p> <p>・世話役代表 中井 善作</p> <p>・連絡係 田中 健一</p> <p>☎0775・52・2927</p>
	<p>■昭和31年卒業(東4回)</p> <p>花の40周年</p> <p>東四同窓会(31年卒)</p> <p>平成8年9月22日(日)</p> <p>於：プリンスホテル</p> <p>詳細は追って連絡します</p> <p>乞うご期待!!</p>	<p>■昭和27年卒業(大高3回)</p> <p>平成8年9月29日(日)正午</p> <p>京都(蹴上)都ホテル</p> <p>問い合わせ</p> <p>☎06・761・5589</p> <p>(川那辺次郎)</p>

# 膳所高への熱き思いが切々と...

## 《歴代校長座談会》 ■ 詳報 ■

興味深いお話しの中から  
その一部をご紹介します。

### ● 共通一次の思い出

国公立大入試に新しくマークシート方式が導入された共通一次元年には、熱心な先生方が夏休みを返上して鉛筆で正確にマークを塗りつぶす指導に取り組まれたとのこと。試験当日は受験会場が滋賀大(教)と滋賀医大であったため、先生方が石山駅と瀬田駅まで出向かれて対応されたとのこと。先生方のご心配と生徒たちの緊張が分かります。その試験(現在は大学入試センター試験)日程は年々繰り上がり、その度に3年生の2学期の授業時間確保、学園祭、修学旅行の日程への対応、更に変化する受験方式への対応、指導などに現場の先生方のご苦労は尽きないようです。

### ● 初めてのトイレ掃除

学習指導要領改定に基づき勤労体験学習を導入。本校がその実施指定校となった年がありました。その折に初めて、本校生徒による「トイレ掃除」が導入されたという事実は、司会者の若い先生が「えっ!それまではトイレ掃除はなかったのですか」と驚く場面がありました。「膳所高のような体質の学校でよくここまでできたと思う。先生方のご苦労、生徒の理解があったから...」と松山先生は述べ、実施に際しては保護者に賛否のアン



### ● ケート調査までされたとのこと

### ● 狭い敷地にさまざまな苦労が

市街地に立地する環境から体育館改築、校舎の改修補修、学園祭後夜祭実施の際の騒音や安全対策などにも先生方の数々のご配慮がありました。特に体育館改築に伴う工事では近隣住民からの反対に合い、了解を得るために日夜歩き回られたことや、平成元年の2年振りの後夜祭復活実現に生徒の役員と一緒に近隣の住宅を一軒一軒承諾を得るために歩かれたことはほんの一例。運動場の狭さも先生方の長年の心配の種。「体育館がひしめきあって練習。事故がないかとはらはらしました。体育館改築の年は運動場が使用できず野球の練習はもっぱら東レのグラウンドを借りました。それも毎日借りられず生徒たちは苦労しました。そんな中で甲子園出場の快挙を果たしたのはスゴイことでした」と石井先生。膳所高が文武両道に優れた高校であると新聞にも取り上げられたとのこと。



### ● ハーバード大学総長の訪問

平成5年、ハーバード大学の総長らが日本の教育視察来日の際、全国でただ一校本校を訪問されたことも喜ばしいことでした。「これは非常に大きな問題。日本の高校教育について見たいと膳所高が一校だけ選ばれたんですからね」と南池先生。同総長は生徒と話したり授業(物理)を見学された後、「かなり日本の高校の水準はみごとだ」と評価。総長



### ● 膳所高は心の母校

この日お集まりの8人の先生方はどなたも膳所高のご出身ではありませんが、校長時代も含め長年在籍された先生方のおことばからは、まるで膳所高が母校であるかのような熱い思いが伝わってきます。「担任をした生徒はすべて覚えていますが」「ある生徒からの手紙に感動しましたね。今も大切に持っています」「何十年たっても同窓会に招かれるのは教師冥利につきますよ」ということばが印象的でした。松山先生からは「校長同窓会のような貴重な場を設けていただいていた。私たちも21世紀を見届けられるようがんばっています」とご挨拶がありました。また先生は繰り返し膳所高の素晴らしさ、その学校に在籍できた幸せを語られました。100周年に向けての力強い励ましのおことばもあり一同心強い思いをしました。先生方に感謝と今後とものご指導のお願いを申しあげ、最後に先生方のご健康を祈念して座談会は閉会しました。なお当日、先生方からは貴重な資料のご提供もありました。座談会での内容と合わせて、100周年史編集に大いに活用させていただきたいと思っています。本当にありがとうございました。(花坂 記)



### 参加者

- (校長先生)  
9、11代 松山 義夫 10代 石井 義雄  
12代 佐野 三郎 13代 小笠原保信  
14代 芦田 博 15代 西村 明  
16代 南池 宣樹 17代 武原 溥
- (学校側)  
羽野 正孝 前田 弘司 澤島 博 谷澤 一輝  
(同窓会)  
上野 滋子 佐田 葉子 花坂 多恵子

### がんばってます!

昭和40年卒業(膳所高13回) 株式会社 ティーティーアイ 代表取締役社長 秋間 實 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-39-1 日東ビル TEL 03-3478-7673	昭和40年卒業(膳所高13回) 国際観光旅館 あみ船元祖 あみ定 代表取締役 磯田 陽子 大津市唐橋町23-1 TEL 0775-37-1780(代)	昭和40年卒業(膳所高13回) 京生製製造卸 有限会社 伊藤商店 代表取締役 伊藤 忠治 大津市蓮池町3-1 TEL 0775-22-5733	昭和40年卒業(膳所高13回) 株式会社 アトリエ・メイク 代表取締役社長 大神 正清 東京都世田谷区宮坂1-21-10 TEL 03-5478-8801(代)	昭和40年卒業(膳所高13回) 大平開発株式会社 メイプルヒルズゴルフ倶楽部 取締役副社長 大平 憲三 甲賀郡信楽町代65 TEL 0748-82-3800	昭和40年卒業(膳所高13回) 真柄建設株式会社 大津営業所 営業部次長 鹿島 弘道 大津市京町1丁目2-22 TEL 0775-23-0141	昭和40年卒業(膳所高13回) 有限会社 加藤木工所 代表取締役 加藤 洋治 大津市唐橋1丁目21-9 TEL 0775-78-2179(代)	昭和40年卒業(膳所高13回) 薬局 近江ファーマシー 薬劑師 杉本 直 大津市馬場1丁目11-2 TEL 0775-25-7730	昭和40年卒業(膳所高13回) 漢方薬局ベンギン堂・一里山ユーベルハイム 代表薬劑師 中川 義雄(昭) 大津市一里山2丁目14-13 TEL 0775-43-1893	昭和40年卒業(膳所高13回) 西利商事株式会社 取締役 西田 幸平 大津市島の関9-13 TEL 0775-23-0055(代)
---	---	---	--	---	--	---	--	---	---

# 周年記念同窓会



## 30周年記念同窓会(膳所高13回) 再会、そして新たなスタートを

1995年10月22日、場所は天津プリンスホテル。30年の時間経過を一瞬にして取り去り、昭和40年卒業の同期生、二百数十名が18歳の心と顔に戻ってワイワイとさわがしく歓談している。そのように見えたのは、私の幻想だったのか。久しぶりの歓談の時は、あまりにも疾く過ぎた。「正気」に戻ることもなく、夜更けて家路にたどりついたのは、私だけではなかったと確信している。

「団塊の世代」の先駆けとして、高度成長期から今日の「高齢化社会」の到来までを駆け抜けてきた、「戦争を知らない子供たち」の我々も、もう



すぐ50歳。20歳までをモラトリアムとして除けば、まさに「人生80年」の後半部をスタートすることとなる。そして「21世紀」もそこまで来ている。明るい展望を「21世紀」に託すには、あまりにも厳しい状況に包まれてもいる。そして、その責任の一端は、確実に我々が負っている。

「ひたすら横見をせず」「前だけを見つめて」突き進む「人生」を「後半生」も繰り返すのか。それだけで「生きてきた証」となるのか。オブリゲイトランナーでなく、ファンランナーとして生きていくことにこそ、「生きてきた証」を見つけられるのではないか。50歳を目前にして、未だ確答を得られない「私」がいる。少なくとも「戦争を呼び起こした老人」にはなるまい。それが、現在の私の精一杯の決意か。

いつの日か、今一度の再会を心待ちにしている。オブリゲイトランナー(Obligaterrunner)健康作りのためにジョギングに打ち込んで、かえって健康を害する人。

ファンランナー  
記録だけを競うのではなく、楽しんで走ることを大切に  
する人  
(実行委員長 永味 幸雄)

## 50周年記念同窓会(膳中43回)

平成7年11月25日瀬田あみ定にて、恩師北川武太郎先生を迎え71名の出席(S20年3月卒業時203名)で開催、物故者30名と恩師方の慰霊祭を学友僧侶の読経で全員焼香し、大広間に在学時の写真10数枚を映写後宴会に入り最大の思い出の安土中之湖干拓作業の話や50年間の越し方、現況を語り合いました。座敷での飲食が良かったとの評で

※卒業30周年を記念して、会費の内より20万円を膳所高校に寄贈いたしました。(平成8年3月11日に上田事務長にお渡しいたしました。)



## さんぱち会コンペ(膳所高11回)

さわやかな秋晴れの平日(9/21)、オープン間もないメイプルヒルズGCにて、膳所高校38年卒業生によるゴルフコンペ(呼称さんぱち会コンペ)が開催された。ギャラリー1名を含めて男12名・女4名の参加を得てスタート前のクラブハウスでは、久しぶりの顔に話が咲くなか、互いに牽制しあいながらにぎりの交渉中。結果が顔にでる前に記念写真をとって、いざスタートホールへ。

第1打、ナイスショットもあれば、OBや地を這うゴルフもありで、悲喜こもごもの思いを背中を漂わせてスタート。グリーン上では3パット・4パットの続出。というわけで数字を気にしない、なかなか笑いのプレーで、肩の張らない楽しいゴルフの一日でした。プレー後は露天風呂やサウナで疲れをいやし、表彰パーティーへ。優勝者山本一郎君には「まつたけ」、以下参加者全員に秋の味覚の商品。また、奥田英山君作の陶芸品や鎌田一郎君からの傘等の商品の寄贈があったりと、和気あいあいの歓談のなか次回の再会を約してお開きに。心から楽しめた一日でした。

本年も秋のコンペを予定しております。同好の輪を拡げたく思っていますので、参加ご希望の方は幹事までご連絡ください。(初心者・女性特に歓迎)。

連絡先 ゴルフ部会世話人  
〒525 草津市東草津2-1-18 山田 勲  
TEL 0775-635799 FAX 0775-620274



した。  
20時コンパニオン嬢の時間切れでお開き、「草むす城は」の校歌を斉唱し次回2年後の世話人団、江若山科組(当時の通学区)の挨拶後閉会し浜大津方面へくり出しました。あみ定磯田陽子様(S40年卒)の飲み放題でのご協力多謝。  
(西村隆夫)

## 事務局よりお知らせ

各学年の同窓会・クラス会をされる方、その他膳所高同窓会に関する名簿等が必要な方、事務局までお知らせください。(非営利目的に限ります。)コンピューターより打ち出し廉価で提供いたします。(タックシールですと貼るだけで宛名書きの不便が除けます。)

住所リスト 1頁16名 1頁あたり10円  
タックシール 1人分 3円

整理された名簿が簡単に使えます。ぜひご利用ください。

## 「お名前広告」募集しています。

掲載内容/卒業年度・卒業回  
勤務先・お名前・住所・TEL/1枠一万円  
お申し込みは同窓会広報部まで

昭和37年(膳所高10回)卒業生へ  
5月12日の同窓会総会に  
吉澤 健君が記念講演をします。  
多数のご出席を!!

昭和40年卒業(膳所高13回) 総合土木建築用品・家庭用品 樋口金物株式会社 樋口 孝一 甲賀郡水口町八光2-1-44 TEL 0748-622-0302	昭和40年卒業(膳所高13回) Green Art 有会社 代表取締役 増田 雅子 グリーンアドバイザー・二級造園施工管理技士 栗太都栗東町笠川82-1-2(メゾンNY103) TEL 0775-534555	昭和40年卒業(膳所高13回) YAMADA MEDICAL ヤマダ・メディカル 代表 山田 巨宏 守山市播磨田町1052(西藤小児科内3F) TEL 0775-827685	昭和40年卒業(膳所高13回) 滋賀容器工業(有) 専務取締役 山田 昇 大津市柳川1丁目615 TEL 0775-231958	昭和40年卒業(膳所高13回) 唐橋焼窯元 若山 義和 大津市唐橋町1815 TEL 0775-370543
--	---	---	--	--

# 同窓生投稿欄

## 30年の歳月を飛び越えて

昭和40年卒業（膳所高13回）

増井 恵

（旧姓 河村）

高校を卒業してもう30年が経ったなんて信じられないくらいです。でも自分の周りを冷静に見れば、24才と21才の二人の娘がおり、若い時のスタイルは維持できず、顔の皺が気になってきているので無理もありません。自分が膳所高出身者であることを日常生活の中でほとんど意識しないままに長い年月が過ぎていきました。数年前から同窓会報が届くようになり、少しずつ過ぎ去った日々を考えると考えるようになりました。昨年の10月21日に卒業30周年を記念する同窓会が開かれ、久しぶりの再会に胸をはずませて参加しました。普段、京都に住んでいて、仕事を抱えて慌ただしく過ごしていますから、かつての同窓生と顔を合わせるチャンスはめったになく、本当に、この同窓会は貴重なひとときだったのです。

振り返って、私の高校時代はどうだったのでしょうか。毎日、守山から汽車通学していました。通学に時間を取られることもあって、また、運動神経を母の胎内に忘れてきた者にとっては、クラブ活動で青春の汗を流すという経験もありませんでした。その当時は男子も交えて話が弾むという雰囲気はあまりなかったように思います。高校3年間で一番思い出に残っているのは高1の時です。担任は国語の先生でした。私たちと同様、膳所高に來られたばかりのフレッシュさを私たちのクラスに持ち込んでくださいました。私は女子の委員をしていましたが、クラスにはなかなか空気がいつも流れていたことを覚えています。SHRの時間に、全員が順番に読書感想文を読んでいたという課題もありました。一巡した後、先生の手書きの文集が私たちに配られた時には、先生の熱意を感じたものでした。小さい頃から読書好きだった私は、先生の影響でますます読書に熱を入れたように思います。他には、文化祭の時に英語暗唱大会やスピーチコンテストに出場したり、高2の時、プロック別の合唱コンクールに向けて、上級生も交えた音楽選択者と共に、膳所公園などで遅くまで練習に励んだことが印象に残っています。その時歌った曲が「菩提樹」だったとはっきり覚

えているのは不思議なことですが、でも高3の1年間に向かない私が何か理系コースを選んで、物理の授業に全くついていけなかったことが挙げられるくらいです。学校行事にも参加しただけですが、記憶はよみがえってきません。恐らく、クラスメイト全員がただひたすら大学受験にむけて頑張っていたからでしょう。結局、理系科目の落とし穴が私の進路をつまづかせることになり、高校卒業後は、私がそれまで漠然と描いていた人生の設計図を変更せざるを得なくなりました。

でも、今から思うと、たとえ第一希望の進路を選び取ることができなかったとしても、それぞれの場での出会いなど諸々の影響を受けて人生が開けてくるものです。それは決して口惜しさではなく、心の底からそう言えます。聖書の中に「求めよ、そうすれば与えられ、探し求めよ」という有名な言葉がありますが、30年を振り返って、そういう人生を送ってきたという感慨が胸にあふれてきます。大学卒業後ずっと、私は京都のキリスト教系の女子校で英語を教えています。膳所高在学時には、今の環境に身を置くことなど夢にも思いませんでした。でも好きな英語を生かせる仕事をずっと続けてこられたことは本当に感謝で一杯です。子育てと仕事の両立は大変ではありませんが、夫と親の協力を得て何とか乗り越えてきました。今は、二人の子供も私たちの元を離れ、子育ての責任から解放された気分です。だからこそ、過去のことを振り返る精神的余裕も出てきたのです。30年ぶりの同窓会に集い、私は改めて高校3年間にあったからこそ今の私があるのだと実感することができました。どこでも受験校は学園ドラマに出てくるような強烈な思い出はないでしょう。でもやはり、久しぶりに会った人達の一人一人が懐かしく、心の高揚を覚えたものです。自分はずでに忘れてしまっていることを指摘されて、「そんなことがあったのかなあ」と驚いたこともありました。現在の環境とは全く異なる場にしばしばタイムスリップしてエネルギーを得、また、自分の住む場所に帰っていく、同窓会はそんな場であってほしいと願っています。実行委員の方々、本当にご苦労様でした。

### 寄稿

#### 卒業式に 涙のサンドウィッチ

株式会社 不二家商事  
代表取締役 馬場 利一



得、温厚質実なる立派なお方にて、お出入りの中あれこれ教えられること沢山にありました。

ある時、「馬場君今年の卒業生の謝恩会にサンドウィッチを作ってくれませんか」とのご相談を受け、飛びつくような嬉しさの中、お受けさせていただきました。ただ一生懸命、衛生、味、出来上がり期限等三日二夜不眠の努力の結果、つつがなく納品出来得ました感激、講堂に並べられた飾りリボンの列を確かめ帰途に、そして浜大津の駅に着いた時、地球が回るといふ自覚を体験しました。思わず地に伏した事。そして人間ここまで働けるという教えをしみじみ味わいました。

以来、その信念を心に、働き続けました。後にお聞きしましたが、サンドウィッチのカラーシが効き過ぎて、会場の学生全員が涙を流して、心と共に素晴らしいハブニングの中終了したことを伝え聞きました。膳所高等学校という名をお聞きする度に、また思い出す度に、心奪る私共の守り神でした。

今、老境を迎え二代目もいよいよ育つて参り、この機会を得ましたこと、心より感謝申し上げます。その名も高い膳所高等学校のますますのご向上あらんことをお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

馬場氏は膳所高同窓生ではありませんが、この記事にありませぬ。現在では京都市内の多くの私立学校の学校給食を請負う著名な会社として隆盛をきわめておられます。100周年が近いことをお聞きになり、事業の原点となった思い出をぜひ紹介させてほしいとお便りをいただきました。（広報部会）

#### 会員の「ご投稿をお待ちしております」

近況報告、ご連絡など本欄を自由に「ご利用」ください。

#### 膳所高卒業生寄贈図書 「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次(版次)

富江 宏	芭蕉と大津その2
伊藤満洲雄	月刊国語教育12月号
小山英美子	志賀の浦舟
大谷晴彦	ガン わたしは幸福に死ぬ
西田耕之助	白鷺の雛たち
望月政嗣	定年退官記念業績目録
竹内将人	退官記念祝賀会講演資料
田中良成	生分解性ポリマーのはなし
初田弥助	終戦後50年に当り真珠湾攻撃と
高橋春成	ミッド・ウェー海戦の歴史検証
反差別国際連帯解放研究所	超貧乏旅2
	荒野に生きる
	野生動物と野生化家畜
	語りの中から
藤田悦史	ニュービジネスの経営空間
草津市立街道文化情報センター	
中神良太	中神コレクション
第2次ハンディスキー委員会	草津風土記
	雪に謳う
野村證券	医学的側面から見た身体障害者のスキー指導法
	熟年学入門
	統一・熟年学入門
	熟年セミナー読本
	VOL2
	VOL3

#### 卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

# 会費未納の方へ

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成8年度年会費納入のお願い

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。  
平成8年度会費未納の方は同封の振替用紙にて納入ください。  
なお、住所等に変更がある方は振替用紙にご記入をお願いいたします。

記

〔会費額〕	年会費	3,000円
	5年会費	15,000円
	10年会費	30,000円

いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。  
新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

〔納入機関〕(振替用紙は共通です。)

郵便局	01010-3-30378
銀行	滋賀銀行 本店(110) 普 913381
	びわこ銀行 本店(111) 普 335940

いずれも名義は、  
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。

※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。

勲三等旭日中綬章

## 宇野会長叙勲

新聞等の報道で皆様すでにご存じのことと思いますが、本同窓会の宇野勝会長が、昨年の叙勲で、勲三等旭日中綬章を受章されました。これは、7期28年にわたる野洲町長としての業績と、県・近畿町村会長、さらに全国の町村会長を2期4年間歴任されたご実績などによる、地方自治振興の功勞によるものであります。本同窓会といたしましてもまことに喜ばしく、心から祝意を表するとともに、今後ともますますご健勝でご活躍なさいますことを祈念いたす次第であります。

おめでとうございませす



## 宇野勝氏勲三等旭日中綬章受章祝賀会



## 事務局日誌

### 同窓会会務報告

- 1995年
  - 4・11 平成6年度会計監査
  - 4・15 第2回常任理事会(於 アヤハレークサイドホテル)
  - 4・25 組織部会(於 グリルエース)
  - 5・14 平成7年度同窓会総会(於 琵琶湖ホテル)
  - 6・3 同窓会総会反省会(於 あみ定)
  - 6・17 第1回役員会
  - 7・1 総務部会
  - 7・18 総務部会
  - 7・29 組織部会
  - 8・1 懇談会
  - 8・22 総務部会
  - 8・25 広報部会(於 紅梅)
  - 9・19 総務部会
  - 9・29 広報部会(於 きんこう)
  - 10・13 第2回役員会
  - 10・14 第2回役員会
  - 10・17 総務部会
  - 11・11 第3回役員会
  - 11・17 総務部会
  - 11・21 第4回役員会(於 あみ定)
  - 12・9 第4回役員会(於 あみ定)
- 1996年
  - 1・16 総務部会
  - 2・3 同窓会部会長会議
  - 2・10 広報部会(於 きんこう)
  - 2・17 第5回役員会
  - 2・20 広報部会(於 きんこう)
  - 2・22 総務部会(於 きんこう)
  - 3・15 広報部会(於 きんこう)
  - 3・22 広報部会(於 きんこう)
  - 4・20 第6回役員会(於 万里也)

### 100周年実行委員会 会務報告

- 1995年
  - 4・5 環境・施設整備部会(於 あみ定)
  - 4・11 平成6年度会計監査
  - 4・15 第2回常任委員会(於 アヤハレークサイドホテル)
  - 4・25 組織名簿部会(於 グリルエース)
  - 6・14 100年史記録部会
  - 7・14 100年史記録部会
  - 7・11 100年史記録部会
  - 7・14 募金推進&環境・施設整備合同部会(於 バンケットルーム)

## 募集

### 同窓会事務局スタッフ

出勤・時間 他 相談可

時間給 1,000円(交通費込)

100周年を控え事務局の強化をはかっています。同窓生の協力をお願いいたします。  
パソコンに関心のある方歓迎

お問い合わせは同窓会事務局まで  
0775-24-4295

- 1996年
  - 3・20 募金推進部会
  - 3・16 100年史記録部会
  - 3・14 100年史記録部会
  - 2・12 環境・施設整備部会(於 花一番)
  - 1・30 100年史記録部会
  - 1・24 100年史記録部会
  - 1・24 100年史記録部会
  - 1・24 100年史記録部会
  - 12・12 環境・施設整備関係者会議
  - 12・12 部会長会議(於 あみ定)
  - 12・9 部会長会議
  - 11・24 記念行事典部会
  - 11・11 第1回常任委員会
  - 11・8 100年史記録部会
  - 10・26 部会長会議
  - 10・11 100年史記録部会
  - 9・13 100年史記録部会
  - 9・2 部会長会議
  - 9・2 部会長会議
  - 8・22 100年史記録部会
  - 8・9 実行委員会の準備会
  - 8・9 広報部会



## 100年史編纂室より

今回からこの欄を利用しまして、百年史の編纂作業状況をお知らせし、また、皆様のご協力をお願いを呼びかけていきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。

予定としては百年史は何冊かに分け、教育体制の変化や意図を問うものと、思い出を辿ったりクラブなど課外活動も振り返ったりするものを作成しようと考えております。目下のところ教育史の方の編集が進んでおります。

教育史は80年誌の編年体や事件中心主義から方針を改め、日常的な教育活動を再現し、また制度の変化を追うにしても、その意図と評価を確認していくことを主眼にしています。

例えば私は、ただいま戦後の新制高校誕生から大津東高校までの教育についてまとめるべく資料を集めておりますが、その際次のようなことが不明で困っております。

- ・昭和23年に膳中から膳所・大津両高校に配分された時の、通学区域の境界線。
- ・昭和23年の志賀高の授業はそんなに整っていなかったのか。7月に旧大津高と合流した時の状況はどうだったのか。
- ・大津高校時代、自分で授業を選択して時間割を組む時に、月曜から金曜まで6時間(計30コマ)すべて授業は詰めるように組んでいたのか。
- ・大津高校で商業科に在籍していた人、及び家庭科女子クラスの人にはどんな時間割の授業を受けていたのか。
- ・生徒がカバンを持って授業ごとに該当の教室に移動する形は、何年から何年まで続いていたのか。
- ・大津東の頃の補習科(浪人生クラス)はどのようなものか。
- ・通知票の成績は教科ごとに数字でつけられていたか。それとも観点別評価であったか。
- ・昭和23年の時点では東校舎(今の膳所高)には女子トイレが、西校舎(今の大津高)には男子トイレがなく困ったというのが、実際の設置状況はどうだったのか。

以上挙げたのはあくまでもある特定時期の例で、もちろんこの他にも疑問点や知らずにいる事実は多々あることと思います。(例えば昭和40年代なら、いったいいつ珠算などの選択教科がなくなったか、などもかく、できるだけ当時を再現できるように、一つ一つ正確を期していきたいと考えております。同窓会員の皆様には、どうかご協力いただきまして、耳寄りな情報をお葉書や封書などでお寄せいただきたいと存じます。当時の物品があればなお嬉しく思います。プリントの類でも写真でも結構です。70・80年誌に用いたものであっても、今回改めて必要としております。今後ともどうかよろしくお願いたします。

教育史編集担当  
谷澤一輝(膳高32回卒)



## 同窓会入会式

去る2月29日(木)に同窓会入会式が行われ、471名の新たな会員を迎えました。宇野勝会長より歓迎のことばがあり、その中でご自身の膳中時代の柔道を例にとられ、体を鍛えることも重要である旨をユーモアを交え話されました。また各自の持ち場で「なくてはならない人」になつてほしいという励ましを贈られました。場内笑いに包まれながらも、新会員達は先輩からの温かい言葉に熱心に耳を傾け、会の終わりに大きな拍手で謝意を表していました。

## 同窓会入会にあたって

生徒会副会長 辻岡 聖美

最近よく、かつての学生と比較して現在の学生を嘆く話を聞くように思います。いつの時代もこうなのか、それとも近年の学生の質が著しく低下しているのかは現在の学生しか知らない自分には分かりませんが、どこかの時代の学生のみが優れていると決めつけることは出来ないとはいえず、これは、単に世代間の差、とか時代の変化というだけで片付けられる問題でもないように思います。

同窓会への入会、といわれても、正直なところ戸惑いがあります。というのは、出身校にとらわれたくないからです。しかし感傷的になるばかりでなく、良い意味での誇りをもった膳所高の出身者であり続けたい。そのなかで同窓会員であることにも心の底から良かったと思うことができる時が来れば良いと思っております。

## サクラサク!

### 主要大学合格者数

北海道大	16名	京都大	10名
東北大	4名	京都教育大	39名
東京大	5名	大阪大	10名
横浜国立大	6名	大阪外語大	34名
名古屋大	7名	神戸大	10名
滋賀大	20名	奈良女子大	28名
滋賀工大	8名	岡山大	9名
京都工繊大	11名	広島大	7名
(公立大学)			
滋賀県立大	4名	京都府立医大	1名
京都府立大	8名	大阪市立大	10名
京都市立芸大	2名	大阪府立大	11名
(私立大学)			
自治医大	1名	同志社大	15名
慶応大	12名	立命館大	18名
早稲田大	21名	龍谷大	53名
中央大	7名	関西大	93名
東京理科大	7名	関西学院大	37名
京都産業大	24名	同志社女子大	9名
京都女子大	21名	近畿大	22名
京都薬科大	13名	関西外大	15名

(一部の大学については、前期分のみの数です。)  
平成8年3月28日現在

## 物理地学班・化学班 学校賞授賞

今年度第三十九回日本学生科学賞の高校・共同研究の部で、物理地学班と化学班が共同で学校賞一位を受賞した。授賞式は今年の一二月二〇日に、秋篠宮様ご列席のもと、東京・新宿の京王プラザホテルで行われた。当日は、教員一名と生徒十二名が参加し、副賞と記念品を、さらに後日、河本文化事業振興財団より奨学金を受けた。



06:27.46

物理地学班の研究テーマは「粘濁(ねんか)の研究」。ハチミツなどの粘性の高い液体を垂らすと着地点に渦を巻く現象を「粘濁」と名付け、その形成原因について、落下させる高さ、液幅の太さ、着地点などを変化させて研究した。

化学班の研究テーマは「フェノール・水の五〇パーセント混合液の臨界温度が、第三の物質の添加によって、



## 編集後記

春になると何か新しいことを始めたくになります。今は中国茶に凝っています。体に良い中国茶で優雅なティータイムはいかがですか。

by M・H

100周年に向けての実行委員会部会報告を読む時、同窓生一人一人の協力の結集が、素晴らしい結果を生むのだらうと、痛感させられました。

マンネリ化しないように、広報部員一同が頑張っておりますが、第8号ともなるといろいろ考えさせられます。同窓会の皆様のお考えやご意見を大いにお寄せください。100周年まであと2年となりました。より一層のご支援をこの新聞を通じお願いする次第です。(S・U)

- |            |            |
|------------|------------|
| 上野滋子 (東2)  | 谷口啓司 (膳10) |
| 田中美津代 (東4) | 佐田葉子 (旧大)  |
| 西谷智恵子 (東2) | 宮崎美恵 (大3)  |
| 花坂多恵子 (膳6) | 高橋好乃 (東4)  |
| 岩崎則子 (膳26) | 服部 章 (膳12) |
| 福井 浩 (膳29) | 谷澤一輝 (膳32) |
| 松田和代 (膳33) | 本多美香 (膳33) |



物理地学班は、一昨年の内閣総理大臣賞、昨年の文部大臣賞に続いて三〇回目の受賞。化学班も、四年前の科学技術庁長官賞など、過去の実績を認められたの受賞となった。

どのように変化するかというもの。添加物としては、有機物を用いるその濃度と臨界温度の関係調べた。